

夕張高等学校と夕張市の連携プロジェクトがスタート

「高校×大学×地域連携事業」：当事業は、昨年度、本学が鶴川高校、むかわ町と「高・大・地」の3つの組織で先進的な取組として行いましたが、今年度は新たに夕張高校、夕張市と本学を含む3大学（札幌大学・北海道科学大学・北海道文教大学）で夕張市が抱える課題の解決に向けた連携プロジェクトが6月20日にスタートしました。 ※担当教授の綱島先生作成夕張レポートは別添のとおり。

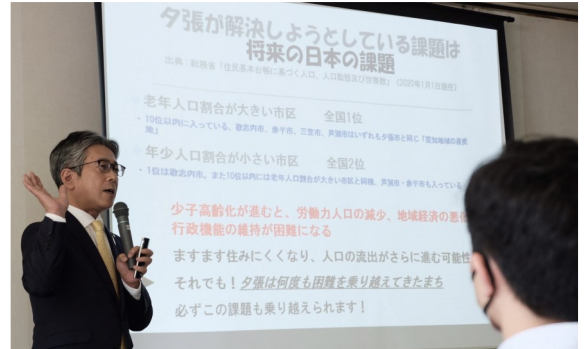
【第1回交流会実施】

日時：令和5年6月20日（火）10：00-15：15
場所：夕張市役所・北海道夕張高等学校 ほか

本連携プロジェクトの第1回交流会は、夕張高校で行われている課題探究型学習「未来の夕張を考える」にファシリテーターとして参加する学生（当日参加は札幌大学10名、北海道科学大学6名、北海道文教大学4名）が、学芸員から夕張の歴史の説明、厚谷市長からは夕張の課題と目指す地域の将来像を聞いたうえで、夕張高校に移動して高校生と対面し、今後の合同活動に向け、アイスブレイクで融和を図った後、高校生の課題6テーマのグループに大学生が分かれて参画し、テーマ設定の背景や解決に向けた仮説を立てるなどのワークショップを行いました。高校生の地元夕張に対する思いを大学生が受け止めつつ、実現に向けて正直な意見を出し合うなど、終始活発な話し合いが行われました。また、他大学生のファシリテート力に刺激を受けることで自己研鑽にもつながる有意義な時間ともなりました。

今回は夕張市に特に思い出のある荒川理事長と夕張担当の綱島先生に同行いただきました。

次回の交流会は夏休み期間中の8月17日を予定しています。



厚谷夕張市長から「夕張の課題と将来像」の説明

活動スケジュール(予定)

【7月】

- ・大学生のファシリテート力向上に向けたのフォローアップ研修

【8月】

- ・探究学習夏休み共同活動（夕張高校）、住民対話
- ・3大学合同宿現地（宿泊）
- ・高校生徒とのオンライン意見交換～翌年9月

【2月】

- ・探究学習年度末中間報告会（夕張高校）

【5月】

- ・大学生独自提案発表会（夕張市）

【10月】

- ・探究学習全体報告会（夕張高校）



グループテーマ別まとめ発表

〈参加学生コメント〉

映画のグループに参加したが、対象者を年齢や性別の違う角度から観察して考えることができた。高校生は地元のことを知っているからこそそのテーマで熱がこもっていた。市内を少し見たが、シャッター街や元炭鉱住宅の空き家を見て暗く思い空気を改善していかなければならないと思った。拠点複合施設「りすた」のような人が集まれる施設がもう一カ所あってもよいと感じた。

（1年・藤川 倅乃さん）

〈高校生各グループの設定テーマ〉

- ①夕張市内の人が楽しめる映画上映
- ②市民みんなで運動
- ③空き家や炭鉱住宅を活用した観光客誘致
- ④子育て世代に向けた夕張市の教育や施設の魅力発信
- ⑤オールシーズン夕張観光大作戦
- ⑥地元青少年に向けた自然体験活動の実施



拠点複合施設「りすた」見学

空き家・炭鉱住宅のグループに参加したが、高校生から夕張の現状について聞き、そこで出た意見を掘り下げて課題をピックアップし、リフォームして利用すると仮設し、各施設からのアクセスを確かめるなどグループワーク活動につながると感じた。シャッター街や空き家が多いがこれは夕張だけの問題ではなく、他の市町村にも目を向けるきっかけにもなった。

（3年・馬淵 善さん）

【綱島先生のコメント】

参加した学生は夕張の歴史や市内の街の様子を深く知らない状況で高校生とのグループワークを行ったので、より詳しい「歴史と現状」を学ぶとともに、現地を巡視し、メロン農家や農協関係者、夕張市に進出した企業経営者から聞き取るなど現地調査も大切と考える。学生には「何を学ぼうとするのか」目的意識を持たせて取り組ませる必要があると感じた。